

都市建設部

令和3年度 重点目標

- 1 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進
- 2 安全・安心な都市環境の整備と防災・減災の推進
- 3 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通活性化の推進
- 4 快適で持続可能な拠点集約型のまちづくり
- 5 緑豊かな健幸都市空間の創出

重点目標	賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		部局名	都市建設部	優先順位	1位		
総合計画における 位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第1節 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	戦略2 人と自然にやさしい 誰もが住みやすい環境のまちづくり				
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進							
現況・課題	・ 市内外の交流を円滑に進めるための道路網は、住民生活や経済社会活動を支える最も基本的な社会資本です。幹線道路網の交通混雑の緩和を図り、救急・防災機能を高めるため、また、観光を含めた産業振興やまちづくりの面からも、強固な交通体系の整備が急務となっています。このため、国道18号上田バイパス第二期工区を含めた都市環状道路とそれを補完する市道及び上田駅へのアクセス道路等の整備を促進する必要があります。							
目的・効果	・ 上田地域定住自立圏構想及び上田地域30分(サンマル)交通圏確立のための道路整備路線を柱に、幹線道路網の整備を促進することにより、渋滞緩和や安全確保が図れます。また、災害時の緊急輸送道路や生活道路としての活用が図れます。 ・ 主要地方道長野上田線を通じた千曲川左岸地域からの中心市街地へのアクセスの向上と、沿線の歩行者等の安全の確保と交通渋滞の緩和を図ります。			該当するSDGsの目標				
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)及び(中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)		期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
①	○上田定住自立圏構想等に位置付けられた広域幹線道路(長野県実施事業)の整備促進 (1) 主要地方道長野上田線(北天神町古吉町線) (2) 国道144号上野バイパス (3) 国道143号青木峠バイパス(トンネル化) (4) 主要地方道小諸上田線(町吉田~中吉田) (5) 主要地方道別所丸子線鈴子バイパス (6) 上信自動車道	(1) 4月~3月 (2) 4月~3月 (3) 4月~3月 (4) 4月~3月 (5) 4月~3月 (6) 4月~3月	(1) 事業進捗、先線計画の検討 (2) II期工区の事業進捗 III期工区計画検討 (3)~(5) 事業進捗 県事業であり、早期完了に向け協力する。	(1) 御所工区(三好町駅付近~赤坂交差点)の事業推進に協力し、道路拡幅、電線類地中化工事を実施中 赤坂交差点の先線(川辺町工区)の計画(幅員)について、関係機関で協議中 三好町工区の未改良部分については改良工事を実施し完了 (2) 2期工区(上信越自動車道~伊勢山交差点)バイパス工事を実施中 先線3期工区のルート定着に協力し、地元説明中 (3) 事業計画の地元定着に協力し、関係者と協議中 (4) 詳細設計発注済、県に協力し今後の進め方等を地元協議中 (5) 県が、ルート決定に向け概略設計(1/2,500)実施中		(1) 主要地方道長野上田線(北天神町古吉町線)御所工区 道路拡幅、電線類地中化工事を実施中 赤坂交差点先線(川辺町工区)の計画について協議を継続中 三好町工区の未改良部分は改良工事を実施し完了した。 (2) 2期工区(上野交差点~伊勢山交差点)バイパス工事を継続して実施中 (3) トンネルの詳細設計完了、用地買収等、地元協議中 (4) 詳細設計を発注し、今後の進め方等を地元と協議中 (5) ルート決定のための概略設計は完了、事業化に向けて関係機関と協議中		
②	○上田地域30分(サンマル)交通圏構想実現に向けた幹線市道の整備推進 (1) 市道踏入大屋線 (2) 市道上田橋下堀線	(1) 4月~3月 (2) 4月~3月	(1) 工事 L=100m(進捗率 248/850m 29%) 橋梁下部工(橋台)1基 用地 4件(進捗率 29/42件 69%) (2) 工事 L=50m(進捗率 50/340m 15%) 用地 3件(進捗率 4/6件 67%) 補償 1件(進捗率 2/4件 50%)	(1) 道路工事 L=135m 工事入札中 神川橋工事 下部工(橋台1基、橋脚1基) 工事準備中 用地は2件契約済、2件交渉中 (2) 工事実施に向け河川管理者と河川協議中 用地は1件完了、2件交渉中、補償も併せて交渉中		(1) 道路工事 L=135m 施工中(5月完了予定) 橋梁工事 下部工(橋台2基、橋脚1基) 施工中(7月完了予定) (進捗率 32%) 用地 5件完了(進捗率 30/42件 71%) 補償 今年度計画無し(進捗率 7/11件 64%) (2) 工事の着手に向け河川管理者と河川協議中 工事 L=98m 施工中(6月完了予定) (進捗率10%) 用地 3件完了(進捗率 4/6件 67%) 補償 2件完了(進捗率 3/4件 75%)		
③	○上田バイパス第二期工区の整備促進 (1) 用地買収・工事(橋梁等)	(1) 4月~3月	(1) 国土交通省長野国道事務所と事業中であり、早期完成に向け、連携して協力します。	(1) 整備促進を図るため、同バイパス対策委員会・連絡協議会を7月に開催 新規工事(一か所目)の着手に向け6月に工事説明会を開催し、工事着手済。また、当該工事に係る各種構造協議中 7月に国が次の新規工事発注に向け開催した占用調整会議開催及び、国による事業用地取得に係る各種手続きに協力		(1) 市内事業区間用地(面積ベース) 79%取得済 神川橋梁区間の下部工(全て)完了 国分上沖地区のバイパス関連工事(R2繰越)完了		

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の 見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
④	<p>○産業振興や住みやすい環境づくりに寄与する道路整備の推進</p> <p>(1) 市道下吉田久保林線(国道18号上田BP関連)</p> <p>(2) 市道中野小泉線バイパス(小泉2号線)</p>	<p>(1) 4月～3月</p> <p>(2) 4月～3月</p>	<p>(1) 工事L=100m(進捗率 220/450m 49%)</p> <p>用地1件(進捗率 7/7件 100%)</p> <p>補償1件(進捗率 7/8件 88%)</p> <p>委託1件(進捗率 1/7件 14%)</p> <p>第二期分</p> <p>(2) 工事L=120m (進捗率1,280/1,400m91%)</p> <p>用地 3件(進捗率 48/48件 100%)</p> <p>補償 2件(進捗率 50/50件 100%)</p>	<p>(1)6月にR2未契約繰越とした用地補償契約を締結 また、7月と8月にR3予算対応分の補償契約を締結 予定どおりR3年度中に用地取得を完了させるため、R3交付 金追加配当を要望中。財源確保でき次第、用地交渉を再開</p> <p>(2)工事L=30mは契約済 残工区も発注に向け設計・積算中 用地2件契約済 残1件交渉中 補償2件契約済</p>	<p>(1)第一期分 工事はR4年度実施に変更 用地 進捗率 3/7件 43% (4件交渉中) 補償 進捗率 7/8件 88% (1件交渉中)</p> <p>第二期分 概略設計業務委託を発注しR4年度に繰越(ルート選定 中)</p> <p>(2)委託 1件完了 工事 L=100m 完了、L=140m 着工 用地 3件 完了(進捗率 48/48件 100%) 補償 2件 完了(進捗率 50/50件 100%)</p>
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

重点目標	安全・安心な都市環境の整備と防災・減災の推進		部局名	都市建設部	優先順位	2位
総合計画における 位置付け	第2編 自然・生活環境 安心・安全な快適環境のまちづくり 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第1節 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	戦略2 人と自然にやさしい 誰もが住みやすい環境のまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ウ 市民への説明責任を果たす的確かつ積極的な情報発信 エ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 市道は、老朽化が進み、更新・修繕が必要とする橋梁および舗装が増加の一途を辿っており、この対策が急務です。 平成22年8月の矢出沢川流域の豪雨災害に対し、県が平成23年3月に策定した上小圏域河川整備計画(矢出沢川)を基本に河川改修工事を進めており、早期完成を図る必要があります。また、市街地中心部での豪雨災害が頻発しており、雨水流入の抑制を含めた総合的な治水対策に取り組む必要があります。 地震による建築物やブロック塀等の倒壊の被害や大気中に飛散する可能性があるアスベストから、市民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図るため、既存建築物の耐震化、危険なブロック塀等の除去、アスベストによる健康被害を防止し、災害に強い安心して住めるまちづくりを進めていく必要があります。 少子高齢化等の影響により、上田市内にも適正に管理されていない空家等が多数存在していることから、この対策や活用策等が求められています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁の更新時期を出来るだけ平準化する方法として、計画的かつ適切な維持修繕により橋梁の長寿命化を図ると共に、老朽化した舗装・トンネルの修繕工事を行います。また、令和元年度から2巡目の橋梁の定期点検を行っています。 上田市街地の豪雨災害を抑制し、地域住民の安全・安心な暮らしを守ります。 昭和56年5月31日以前の建築物で、大地震により倒壊のおそれのある既存建築物の耐震化(建替え)を図ること。または、危険なブロック塀等を除去することにより、大地震発生時の建物等の被害軽減が図られる。 吹付けアスベストの大気中への飛散防止をすることにより、アスベストによる市民の健康被害の防止と安全な生活環境を確保することができる。吹付けアスベスト等が適切に処理されることにより、大地震発生時の二次被害を防ぐことができます。 空家の発生抑制、適正な管理の推進、利活用の促進、管理不全な空家の解消(解体)等を行うことにより、周辺住民の安全安心な暮らしの確保と住環境の改善を図ります。 		該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)及び(中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)	
①	○老朽化した道路構造物の長寿命化の推進 (1)橋梁及びトンネル長寿命化の推進	(1)4月～3月	(1)【橋梁修繕】Ⅲ判定 進捗率 6/77 工事1箇所(富士見台橋) 実施設計6箇所 【トンネル修繕】 工事1箇所(野竹トンネル) 【橋梁点検】 橋梁定期点検(504橋)実施	(1)【橋梁修繕】 工事1箇所(富士見台橋)は、入札不調で再度入札手続き中、R4年度へ先送りを国と協議中 実施設計6箇所中、3箇所発注済、3箇所を入札中 【トンネル修繕】 野竹トンネルは照明LDE化工事中、舗装修繕工事設計中、国分トンネルは設計準備中 【橋梁点検】 橋梁点検(504橋)は、委託点検の99橋中、28橋を契約し実施中、71橋は入札待ち。直営点検(405橋)分は、点検準備中	(1)【橋梁修繕】 進捗率 11/77 工事1箇所 R4年度へ先送り(富士見台橋) 実施設計3箇所完了、3箇所発注済(6月完了予定) 【トンネル修繕】 野竹トンネル修繕工事 発注済(6月完了予定) 【橋梁点検】 橋梁定期点検委託(504橋) 直営点検(405橋)完了 委託点検(99橋)発注済(6月完了予定)	
②	○上田市街地ほかの防災・減災対策 (1)上田市国土強靱化地域計画の策定 (2)神科台排水路整備 (3)城下地区排水対策事業 (4)[県]矢出沢川整備事業 (5)[国]千曲川国分地区築堤整備事業 (6)[県]河川監視カメラの整備	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月 (5)4月～3月 (6)4月～3月	(1)計画策定・公表 (2)工事L=129m完了 委託1件、補償1件 (3)金窓寺川調整池完了 中村調整池詳細設計実施 (4)上田建設事務所と連携し、早期完成に向け協力します。 (5)千曲川河川事務所と連携し、早期完成に向け協力します。 (6)上田建設事務所と連携し、画像情報等を住民に公開します。 (カメラ設置数 7→11)	(1)上田市国土強靱化地域計画(素案)を作成し、第3回策定委員会を開催し、パブリックコメントを実施中。(9/16～10/15) (2)工事は設計積算中、委託は契約済、補償は交渉中 (3)金窓寺川調整池は工事中。中村調整池は設置場所を地元協議中 (4)諏訪部橋上流護岸工事実施中 (5)R2線越工事は完了、残工事着手に向けて上水・下水移設工事中 (6)監視カメラ設置工事発注済、工事準備中	(1)上田市国土強靱化地域計画 策定・公表済(12月) (2)工事L=129m 施工中(10月完了予定) (進捗率 2,526/2,570m 98%) 設計業務委託1件完了 埋設物移転補償1件完了 (3)金窓寺川調整池 工事中(進捗率65%) 中村調整池は設置場所を地元協議中。 (4)諏訪部橋上流の護岸工事は完了 継続して護岸工事施工予定 (5)R2年度線越の築堤護岸工事完了 上水道管・下水道管の支障移転完了 (6)監視カメラ4基設置はコロナ禍により部品調達が遅れて未設置 次期出水期までの設置・公開を目指す。	

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の 見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
③	○危険な空家の早期解消と空家利活用の推進 (1) 老朽危険空家の解体促進と跡地の利活用 (2) Bランク空家の追跡調査結果を踏まえた個別対応 (3) Cランク空家に対する継続的な対策の実施 (4) 相談等による課題や問題の整理・解決策の提供	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 老朽危険空家の解体 …15棟 空家解体跡地の利活用 …2棟 (2) Cランク空家 …20棟減 (3) 空家相談会の開催 …年5日間	(1) 補助金申請23件の内、要件に該当した空家15棟、交付決定済9件（予定どおり） (2) 現在までの申請1棟（予定どおり） (3) 解体補助金の活用により、上半期で4棟解体済。これ以外は調査中。 (4) 6月と9月に計3日間で開催済。下半期は、12月と3月に開催予定（計5～6日間）	(1) 老朽危険空家解体補助金・・・17棟 空家解体跡地利活用補助金・・・1棟 (2) Bランク空家の追跡調査を踏まえた個別対応については、すべて完了。 (3) Cランク空家 5棟減少 (4) 6月、9月、12月に計4日間で開催済。3月開催はコロナ蔓延防止等の影響で中止。
④	○安全・安心な公共建築物の整備 (1) 建築物の整備では、安全性が高く過不足のない適切な品質の確保を目指す。 (2) 公共施設マネジメント基本方針に留意して行う。	(1) 4月～3月	(1) 第五中学校改築事業 (2) 第二給食センター改築事業 (3) 上田市庁舎改修・改築事業及び南庁舎改修事業 (4) 特定天井の耐震化事業 上田文化会館	(1) 基本設計中 令和4年5月完了予定。 (2) 令和3年12月実施設計完了予定。令和3年度内工事発注予定。 (3) 令和3年7月着工 令和4年3月完了予定。 (4) 令和3年9月完了。	(1) 基本設計中 令和4年5月完了予定 R4年度校舎棟実施設計 (2) 令和3年12月落札 令和4年3月議会承認・契約完了 (3) 令和4年4月完了（コロナ渦の影響により資材納入遅延） (4) 令和3年9月完了
⑤	○民間建築物の耐震化や危険なブロック塀等の除去、アスベスト分析調査及び除去工事の促進 (1) 民間建築物の耐震化の促進 (2) 危険なブロック塀等の除去 (3) アスベスト飛散防止対策	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 耐震化の促進 ・耐震診断の実施 （木造住宅）… 35戸 （避難施設）… 1棟 ・耐震改修等工事の実施 … 12戸 (2) ブロック塀等の除去 … 50箇所 (3) アスベスト対策 （分析調査）… 10箇所	(1) 耐震化の促進 ・耐震診断の実施 （木造住宅）… 35戸 （避難施設）… 1棟 ・耐震改修等工事の実施 … 8戸 (2) ブロック塀等の除去 … 8箇所 (3) アスベスト対策 （分析調査）… 2箇所	(1) 耐震化の促進 ・耐震診断の実施 （木造住宅）… 35戸 （避難施設）… 1棟 ・耐震改修等工事の実施 … 10戸 (2) ブロック塀等の除去 … 11箇所 (3) アスベスト対策 （分析調査）… 3箇所
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・老朽化した道路構造物の長寿命化の推進により安全・安心が向上します。 ・河川整備により周辺住民の安全・安心が向上します。			○取組による効果・残された課題	

重点目標	「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通活性化の推進			部局名	都市建設部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第2編 自然・生活環境【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第2節 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通の活性化			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	戦略2 人と自然にやさしい 誰もが住みやすい環境のまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化、エ 広域連携の推進 (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 オ 受益と負担のあり方の見直し						
現況・課題	・モーターゼーション及び人口減少の進行に伴い、公共交通機関の利用者は減少傾向にあり、また、交通産業における運転手不足と高齢化、更には、新型コロナの影響により、公共交通の維持・確保が極めて困難な状況である。 ・別所線は、令和元年東日本台風（19号）災害からの復旧を遂げたが、輸送人員が激減している。 ・運賃低減バス事業は、平成25年10月から6年間の実証運行を経て、令和元年10月以降も運行継続を図っている。 ・急速な高齢化、高齢ドライバーによる交通事故が多発し社会問題となっている中、運転免許証の自主返納者数が増加しており、地域での支え合いを含めて、高齢者の移動手段の確保が大きな課題となっている。 ・別所線を含む塩田平地域の日本遺産認定を契機とした観光振興、また、上田市スマートシティ化推進計画に基づくICTの推進を図っていく必要がある。						
目的・効果	・別所線の復興による、市民や観光客の移動手段の確保、ゼロカーボンの推進、文化的価値の維持の効果 ・運賃低減バス施策の推進による、モビリティマネジメントの推進、高齢者の外出支援による健康増進、交通渋滞解消、通学費の軽減等の効果			該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	●上田市地域公共交通計画の策定 (1) 令和2年11月27日、施行の改正「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく計画策定 (2) 交通事業者のプラットフォームづくり ・第二次上田市総合計画「後期まちづくり計画」に搭載した災害時等の情報共有の場を設置、県交通カルテ事業の地域組織との連携	(1) 05月：策定方針 12月：計画案 01月：パブコメ 03月：計画策定 (2) 05月：協議会分科会 10月：協議会分科会 03月：協議会	(1) 年度末：計画を策定・公表 (2) 年度末：交通事業者プラットフォームの設置	(1) 上田市地域公共交通計画の策定（R4まで延長） ・6月補正予算、計画策定経費計上（900万円、債務負担） ・9/16入札、（株）地域総合計画が受託（10/7部長会議、策定方針を報告） (2) 交通事業者プラットフォームづくり ・8/2、市長懇談会で、情報共有の場・スタートの位置付け ・上田市国土強靱化地域計画への施策掲載検討 ・9/21、長野県公共交通活性化協議会「全体会議」「地域別部会」設置方針公表	・11/22上田市公共交通活性化協議会、12/13環境建設委員会協議会で、計画策定方針を報告 ・業務委託として、統計データ基礎調査、バス乗降調査、市民アンケート、高校生アンケートを実施 ・上田市国土強靱化地域計画（R3-R7）、及び上田市交通安全計画において、交通事業者プラットフォームづくりの取組を位置付け ・武石デマンド交通について、武石産業建設課と上田市商工会との簡易版BCPを策定 ・長野県の協議会が11月に設置、地域別部会に位置付ける上田地域公共交通連携会議は、準備会（12/28）まで進捗		
②	●公共交通の維持確保に向けた安全対策事業と利用促進事業の推進 (1) 別所線の安全対策事業と利用促進の推進 (2) しなの鉄道線の安全対策事業及び車両更新事業の推進	(1) 年度末：安全対策事業完了 (2) 年度末：安全対策事業及び車両更新事業完了	(1) 年度末：事業進捗100% 安全対策 ○別所線輸送人員73万人の確保 30年度：129.9万人（前年比1.5%増） 元年度：111.6万人（前年比14.1%減） 02年度：63.8万人（前年比42.8%減） (2) 年度末：事業進捗100% 安全対策・車両更新	(1) 別所線の安全対策事業と利用促進の推進 ①安全対策事業 ・6/10別所線再生支援協議会（R3国補助計画） ・9月補正予算、車両検査を新型コロナ交付金に財源振替 ・R4以降の計画協議 ②日本遺産認定1周年・別所線開業100周年記念事業 ・6/17～6/28、ストリートピアノ「LovePiano」を別所温泉駅に設置 ・6/19、日本遺産ラッピング車両出発式 ・6/19、LovePiano ハラミちゃん特別ライブ ・7/25、テレビ信州「アートはうたう」放送（250万円） ・9/11～案山子まつり (2) しなの鉄道線の安全対策事業及び車両更新事業の推進 ・6/08、しなの鉄道活性化協議会（R3国補助計画） ・7/12、沿線市町担当課長会議（R4予算計画） ・7/30、沿線市町担当課長会議（経営改革方針） ・9月補正予算、車両検査を新型コロナ交付金に財源振替	■別所線輸送人員： 82万人/2月末 ①安全対策事業 ・R4以降の設備投資計画の協議、11/4市政経営会議 ・12/23市長による夜間工事現場視察 ・3/10運行協定の調印（災害の経過も踏まえた新たな視点） ・新型コロナ禍で、半導体部品の調達遅延に伴う繰越しが発生 ②日本遺産、開業100周年記念事業 ・10/7、大学生と市長との懇談会 ・10/13、ラッピング電車の愛称披露「れいんどりーむ号」 ・12/26、観光大使・月影瞳さん1日観光駅長 ・日本遺産推進事業でAI多言語案内システム構築 ・別所温泉駅の観光駅長問題の調整 ③団体再編 ・別所線電車存続期成同盟会と別所線再生支援協議会を再編し、別所線活性化協議会を設置（4/1） ■市内4駅乗降者数 381万人/2月末 ①安全対策事業、車両更新事業 ・115系延命化工事で一部繰越が発生 ②経営改革 ・10/28、沿線市町首長会議 ・3/12ダイヤ改正（減便）、4/1～信濃国分寺駅無人化		

	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告 （目標に対する進捗状況・進捗度）及び （中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の 見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）
② （つづき）	(3) 路線バスの利用促進と路線の見直し	(3) 年度末：バス事業再編（廃止代替補助、路線バス・市営バス まりんこ号ほか）	(3) 年度末：路線バス等の再編、廃止代替補助再編（次年度予算編成） ○路線バス輸送人員83万人の確保 24・25：99.5万人（24・25対比） 30年度：118.8万人（16.2%増） 元年度：114.4万人（14.9%増） 02年度：75.3万人（24.3%減：推計）	(3) 路線バスの利用促進と路線の見直し ・6/01、上田市公共交通活性化協議会（R2決算、R3計画、交通計画） ・7/22～8/23、夏休みキッズパス事業（延べ1,234人） ・9/30、佐久上田線の廃止 ・丸子・武石地域の交通再編検討	■路線バス輸送人員数：79万人/2月末 ・上田市公共交通活性化協議会（11/22、1/7、2/18） ・上田地域定住自立圏共生ビジョン（R4-R8）への公共交通関連2事業の位置付け ・運賃低減バス運行事業の継続検討（R4.10.1～） ・松本上田直行バスの継続検討 ・豊殿地区循環バス廃止・お助け福祉車の調整 ・丸子・武石地域の交通再編検討
	(4) 運転免許証自主返納促進事業の推進とタクシー活用等の検討	(4) 運転免許証自主返納促進事業再編 上半期：制度設計 下半期：事業再編	(4) 年度末：タクシー活用を主とした、高齢者・妊産婦・観光客等の移動支援策の検討（次年度予算編成） ○タクシー利用補助券交付決定者数 30年度：330人/（1,039千円） 元年度：452人/（1,284千円） 02年度：376人/（1,083千円） 03年度：400人/（3,000千円）	(4) 運転免許証自主返納促進事業の推進とタクシー活用等の検討	■交付申請者数：339人/2月末 ・1/1～、押印制度の見直しに伴い、タクシー利用補助券の交付申請書の押印を廃止 ・4/1～、タクシー利用補助券の使用方法を見直し、1乗車につき最大2枚まで使用可能に変更
③	●ICT導入によるスマートシティ化の推進 (1) (1) QRコード決済実証事業の推進 ・菅平高原線の継続、別所線導入、他のバス路線への導入、観光業・商業との連携 (2) ICT施策の調査研究 ・グリーンスローモビリティ、シェアサイクル、AIデマンド（新田地区、小諸・東御・上田ワイナリー）	(1) 菅平高原線（継続）別所線5/1～10/31 他のバス路線 (2) 上半期：グリスロ実証事業、下半期：別所線シェアサイクル検討、AIデマンド検討	(1) 実証事業の継続、他の路線バスへの導入に向けた国・県補助金の確保 (2) 上半期にグリスロ実証事業実施年度末までに、別所線シェアサイクル導入検討（次年度予算編成）、AIデマンド導入検討	(1) QRコード決済実証事業の推進 ・4/26、第4回公共交通キャッシュレス化推進プロジェクト ・5/20、別所線実証事業スタート ・6月補正、長野県企業局交付金事業の活用（500万円） ・9/28、第5回公共交通キャッシュレス化推進プロジェクト (2) ICT施策の調査研究 ・7/28、長野県DX勉強会（公共交通） ・シェアサイクル事業、R4別所線沿線での展開検討（鉄道史跡巡り）	・10/1～、市内全域のバス路線に、実証事業拡大 ・12/1～、デジタルプレミアムチケット事業との連携 ・2/3、スマートシティ化推進フォーラムで事例発表 ・3/18、R4デジタル田園都市国家構想推進交付金の内示 ①調査研究 ・10/14、長野県DX推進課による上田市事業の視察 ・3/18、長野県DX勉強会（公共交通） ・各種セミナー等で情報収集 ②シェアサイクル事業 ・10/7、別所線サイクルトレイン、R4事業計画検討
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題	

重点目標	快適で持続可能な拠点集約型のまちづくり			部局名	都市建設部	優先順位	4位
総合計画における 位置付け	第2編 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第3節 安全・安心に暮らせる環境の整備			上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	戦略4 人・地域の輝き戦略 施策体系④ 地域主体のまちづくりを進める地域内分権推進		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 ア ICTの活用による行政サービスの向上と業務の効率化 ウ 市民への説明責任を果たす確かつ積極的な情報発信						
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 現在の「上田市都市計画マスタープラン」は基準年次を平成22年、目標年次を令和12年に設定し、平成27年に策定している。本計画は、社会情勢の変化や関連計画及び制度の新設や変更などにより、必要に応じて計画の見直しについて検討する必要があります。 併せて、「上田市立地適正化計画」は基準年次を平成27年、目標年次を令和17年に設定し、平成31年に策定している。本計画は、概ね5年ごとに計画の進捗状況の確認を行い、マスタープランの見直しと調整を図り、必要に応じて本計画の見直しと国から求められている防災指針の記載について検討する必要があります。 「まちなかレンタサイクル」は対人による貸付事務等の問題が生じており、シェアサイクルの社会実験を通して事業化を検討します。 城下町らしい風格あるまちなみを創出するため、住民と行政、関係する電線管理者が協働、協力して無電柱化に取り組む必要があります。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 上田市都市計画マスタープランや立地適正化計画の見直しを検討し、都市機能の質的な充実、安全で安心な都市の形成及び自然環境の保全などを重視する拠点集約型のまちづくりを目指します。 シェアサイクルは、コンパクトシティと健康で快適な生活環境の実現のための一手法で、観光や環境、健康増進施策とともに、二次交通の充実やスマートシティの推進にもつながります。 無電柱化の推進を図り、防災性・安全性・快適性及び景観形成を向上させることができます。 			該当するSDGsの目標			
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）		期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○上田市都市計画マスタープランの見直しの検討 (1) 都市計画基礎調査の委託発注 (2) マスタープランの見直し項目の検討	(1) 6月 (2) 3月	(1) 都市計画基礎調査の委託発注 (2) 現マスタープランの見直しに伴い、「当面の課題に対する方針」の用途地域変更案の検討と作成	(1) 基礎調査業務委託発注済 業務進行中 (2) マスタープラン・立地適正化計画の見直し内容を検討中。次年度業務委託発注予定		(1) 基礎調査業務委託 業務完了（納品・検査済み） (2) マスタープラン・立地適正化計画の見直し業務について、2箇年の債務負担行為を設定し、プロポーザルにて発注（4月～5月に業者選定）することを決定。（指名委員会報告済み）	
②	○シェアサイクルの活用推進 (1) シェアサイクルの社会実験を実施 (2) 社会実験の効果・検証	(1) 6月～11月 (2) 12月～3月	(1) 地域発元気づくり支援金及び市の負担金を活用し、シェアサイクルの社会実験を実施 (2) 効果・検証を行い、次年度以降の実施方法や3年後の事業化について検討	(1) 交通事業者・商工会議所・商店会連合会・警察および市役所関係 部署によるシェアサイクル活用推進協議会を設立し、7月よりシェアサイクル社会実験を開始。（12月まで） (3) 毎月のデータにより利用状況・効果・他について検証中		(1) 1年目のシェアサイクルの社会実験を7月から12月にて実施、完了している。 (2) 社会実験の結果（データ）を解析し、協議会にて報告済。現在、2年目の社会実験に向け、ポートの場所や車両台数の拡大等などについて検討、準備中。	
③	○防災性及び快適性の向上を目指した新参町線無電柱化事業の推進	(1) 4月～3月	(1) 工事 L=60m (進捗率 353/720m 49%)	(1) 工事L=184mを発注済 施工中		(1) 工事委託料の減額に伴い、事業促進のため工事費の増額組替えを行い、工事延長を増工し、L=198mを施工中。	
④							
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題			

重点目標	緑豊かな健幸都市空間の創出		部局名	都市建設部	優先順位	5位
総合計画における 位置付け	第2編 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】 第2章 良好、快適な生活環境の形成 第4節 緑豊かな魅力ある都市環境の創出		上田再構築プラン「7つの挑戦」における位置付け	戦略5 子供は地域の宝、すくすく育つ安心子育てのまちづくり		
第四次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 将来を見据えた新たな行政サービスへの改革 イ 多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (2) 健全で持続可能な財政基盤への改革 エ 公共施設マネジメントの推進				
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園等には経年による老朽化が進む公園施設が見られます。 子供たちが公園を安全に安心して利用できるよう、施設の改築・更新と適切な維持管理を行うことが求められています。 景観計画や屋外広告物条例の適切な運用に加え、地域資源を生かした景観まちづくりが求められています。 人口減少・少子高齢化が進行するなか、花と緑のまちづくりにおける市民や事業者の活動参加、都市緑化への意識を高めていく検討が必要です。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の整備や遊具の改築・更新などを行い、安全・安心な公園を目指します。 身近にある公園を整備し、子育て世代が安全・安心に利用できる公園整備を進め、楽しめる公園づくりを目指します。 歴史的町並みや文化財などの景観を維持向上させることで、上田らしい魅力ある景観形成が図られます。 自治会などへの花苗配布を通して「市民主体の花のあるまちづくり」が促進されます。また、景観・花と緑のまちづくりフォーラムを開催し、景観づくりや都市緑化に対する意識高揚を図ります。 	該当するSDGsの目標				
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）及び（中間報告の時点で取組項目に対する方法・手段の見直しを行った点）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）	
①	○公園施設長寿命化計画に基づく施設の改築・更新事業の推進	(1)4月～3月	(1)上田城跡公園他10公園の施設の更新及び公園施設の適正な維持管理	(1)計画公園11公園のうち、10公園について10月中旬までに発注。残り公園を12月上旬に発注予定。	(1)計画公園11公園について計画通り発注を行い、3月末事業完了。また、事業進捗のため新たに6公園を発注、3月末事業完了する。	
②	○子育て支援・身近な公園改築・更新事業の推進	(1)4月～3月	(1)中央公園、長池公園、神川公園の公園施設の改築・更新	(1)長池公園及び中央公園は10月中旬に発注。なお、神川公園は事業の実施を見送る。	(1)長池公園及び中央公園について、3月末事業完了。	
③	○良好で緑豊かな景観形成の推進 (1)歴史的風致維持向上計画や国の補助事業を活用し、景観づくり・歴史まちづくりを推進 (2)花苗配布により自治会等の花壇づくり活動を支援。講演会を通して都市緑化活動を啓発	(1)4月～3月 (2)4月～12月	(1)歴史まちづくり（歴史的風致維持向上計画）の実施事業計画案の作成 (2)夏・秋の2回花苗を配布 景観・花とみどりまちづくりフォーラムの開催 12月	(1)歴史的風致維持向上計画に盛り込む実施予定補助事業について関東地方整備局と協議（7月）。計画全編の素案作成は予定通りの進捗（9月末） (2)自治会等に夏の花苗を74,600本配布（6月）。花と緑のまちづくりコンクールの開催（8月）。フォーラムの開催に向けた講師との打ち合わせ、広報用のチラシ・ポスターを印刷完了（9月）	(1)実施予定事業を盛り込んだ素案を策定し、市政経営会議及び庁内調整会議で確認・了承（1月）。歴史的風致維持向上協議会を設置し、第1回目協議会を開催（3月）。 (2)夏の花苗を74,600本配布（6月）、秋の花苗を57,550本配布（10月）。まちづくりフォーラム（12月）において花と緑のまちづくりコンクールの表彰式と都市緑化に係る講演会を実施し、都市緑化活動を啓発。（参加者：113人）	
④						
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			○取組による効果・残された課題		